

実技試験 ガイドライン

I 検査前チェック

- ・探触子・心電図コードのもつれの有無確認は行われたか
- ・探触子選択の確認操作は行われたか
- ・検査室への案内に際し、患者のフルネームで確認しているか
- ・患者に対し、心エコー検査についての説明が行われたか
- ・心エコー図検査の前に患者から症状などを聞いているか
- ・心エコー検査番号、患者属性などが再確認を行ないながら登録されているか

II 検査中チェック

- ・エコーゼリーの量は適当か、配慮があるか(着衣、毛布、言葉など)
- ・検査全体を通じて患者への配慮、声かけの励行について評価
- ・基本断面・特殊断面の描出（指示通りの断面が的確に描出可能か）
- ・左右冠状動脈描出
- ・LAD を描出して冠血流が記録できる
- ・内頸動脈、外頸動脈の撮り分けができる。IMC 測定、椎骨動脈描出
- ・病態に特徴的な断面を的確に描出して評価できる
- ・左房内血栓の有無（左心耳を含む）
- ・収縮性心膜炎（M,T 呼吸性変動、IVS bounce motion、septal dip、心膜癒着サインなど）
- ・診断に必要な計測が精度良くできる
- ・左室流入血流、肺静脈血流、僧帽弁輪運動（拡張能評価）
- ・心拍出量（パルスドプラー法）
- ・患者から質問があった時に適切に対応できる

III 検査後チェック

- ・検査終了後、探触子劣化を防ぐためエコーゼリーをふきとっているか
- ・患者を解放する前に、必要な記録（静止画、動画）が撮れているかを確認しているか
- ・検査が終了した旨を患者に伝え、ねぎらいの言葉をかけたか
- ・患者からその場で「検査の結果はどうでしたか？」と尋ねられた場合、適切に対応できるか
- ・ベッド周りや心電図、探触子ケーブルの整理整頓

IV その他

1. 検査中の患者に対する接遇のあり方

- ①検査中に検者が交代する場合
- ②見学者（新人技師や研修医など）がいる場合

2. 緊急時への対応

- ①どのような検査所見を重篤な病変と判断するか、判断した場合の対応について
- ②患者容態が急変（心停止など）した場合について

3. 経食道エコー検査時の対応について

経食道エコー検査時に起こる可能性のある事故・合併症の種類および対応について

4. 二次試験に出題された問題と同レベルの質問を実技試験の場にて口頭で問うことがある